

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	市民活動支援センター運営事業	担当課	市民協働推進課	
総合計画	政策	みんなで築くまち	計画期間	平成14年度～
	施策	協働によるまちづくりの推進	種別	任意の事務
	基本事業	市民活動への参加意識の形成・向上と情報提供	市民協働	委託事業
予算科目コード	01-020702-02 単独	根拠法令・条例等	守谷市民活動支援センター事業実施要綱, 守谷市民活動支援センター事業実施要領	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成14年12月、ボランティア等の市民公益活動が行いやすい環境整備のため、情報発信や活動の場を提供する施設として浄化センター内に開設した。平成20年4月から市民交流プラザ内に移転し、機能の充実を図った。平成28年4月には運営業務を委託し、市民活動団体に対しより効果的な支援が可能となった。	市民活動に関する研修会や講座等を開催し、活動の場の提供として会議室や備品の貸出しを行う。また、市民活動の情報を収集し提供する。市民活動団体の交流や連携を促し、団体からの相談に対応する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
既存市民活動団体の強化と新規団体を育成することが必要であり、市民や市民活動団体に対し、情報や交流の場を提供することで市民のボランティア意識の啓発と活動の支援を行う。これにより地域活動を活性化させ、誰もが積極的にまちづくりに参画できる協働のまちづくりの推進を図る。	
(参考) 基本事業の目指す姿	
市民活動に参加したいと思う市民が増えるようにする。 市民活動の情報提供窓口を周知し、活動を始めやすくする。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
これまで蓄積した活動団体との連携を生かし、既存の活動団体や新規団体等のそれぞれのレベルやニーズに合わせた支援をするため、ガイドブックの作成準備に取り組む。	12月～1月：ガイドブック作成趣旨の確認、掲載内容の検討 2月～3月：市民活動支援センター利用状況等の分析 ボランティア団体、人材、市のニーズ把握 活動情報の収集 3月：2020年発行に向け、ガイドブック作成スケジュールの計画
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
ボランティア団体への活動支援として、地域で活動するために必要な知識や具体的な手法とセンター登録団体に関する情報を記載したボランティアガイドブック（仮称）の作成（2020年度完成予定）を目指す。今年度は、原稿作成のため市内の情報を収集し、ガイドブック発行までのスケジュールを計画する。	

次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	中間支援組織としての機能をさらに充実させるため、啓発事業を拡大し、業務委託経費を増加する。 また、活動拠点となる市民活動支援センターの設備（パソコン）入れ替えのため、備品経費を増加する。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度 of 取組（評価、課題への対応）
これまで蓄積された活動団体や公益活動に関する情報を生かし、市民公益活動推進に関するガイドブックの発行（平成32年度予定）に取り組み、情報発信の拡大を図るなど、市民活動支援センターの「中間支援組織」という役割の成果向上を図る。	地域で活動するために必要な知識や具体的な手法を記載したボランティアガイドブック（仮称/2020年度完成予定）準備のため、ガイドブック発行までのスケジュールを計画し、情報を収集した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
団体活動件数（回）	292.00	317.00	335.00	330.00	340.00
ボランティア講座の参加人数（人）	4,270.00	4,849.00	4,688.00	4,950.00	5,000.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	団体活動件数は増加しているが、ボランティア講座の参加者は減少している。市民活動支援センターの運営業務を公益活動実践団体と契約することで、中間支援組織としての機能を拡充し、成果の維持を図る。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	コストを維持し、これまでの市民活動支援センター運営業務を通じて蓄積した公益活動に関する情報や実践の手法を市全体で共有し、更なる協働のまちづくりの推進に向けた事業を展開する。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	8,975	8,843	9,732	14,218	10,321
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	8,843	9,732	3,996	0
	一般財源	8,975	0	0	10,222	10,321
正職員人工数（時間数）		50.00	394.00	242.00	0.00	0.00
正職員人件費		205	1,615	1,010	0	0
トータルコスト		9,180	10,458	10,742	14,218	10,321